

新宮山彦ぐるーぷ第2286回

### 深仙宿避難小屋の整備など

◇実施日 4月18日(木)

◇参加者 梶野照雄

曇 1名

去年の11月に深仙宿避難小屋のソーラー発電を点検、ネズミに食いちぎられた配線を繋ぎ直したが、バッテリーに充電できるかどうかは判らず、連休を前にしてバッテリーの交換に向かった。



太尾登山口

古田の森

倒木が道を塞ぐ

午前9時前に登山口を出発。降りてきた函館の人と出会い少し話をする。28年前前に弥山、八経ヶ岳は登ったが、南の方が見たくてやってきたそうだ。古田の森で休憩し千丈平を目指す。日差しは無く風が強くて体感気温は低い。古田の森の北側で笹の伸

び方が激しい所が30mくらい続いている。千丈平の手前には直径30cmほどの倒木が道を塞いでいた。



深仙宿に着く

バッテリー交換

交換完了

千丈平で腰を下ろして休憩する。カップ麺の容器3個とペットボトル2個、その他ゼリーの容器などが道に広がっていたので集めて石で重しを置いた。帰りに焼却しようと思う。深仙宿に着き、お堂から脚立を出して小屋に向かう。

照明のスイッチを入れてみると、ちゃんと点灯した。11月には電圧が4ボルト程度しかなく、LEDも全く点灯しなかったので、充電できていたようだ。バッテリーの電圧を計ってみると、点灯時12・4ボルトだった。正常値と言ってもいいだろう。念のため、持ってきた新しいバッテリーと交換した。ネズミに食いちぎられたコードも繋ぎ直した。LEDや上についている鏡、スイッチや充電器をウエットティッシュで拭き取ってきれいにした。充電器に付けてあったUSBのケーブルが無くなっていた。誰かが持ち去ったよう

だ。  
下北山村役場の栗山さんから送ってもらったバスの時刻表を壁に貼った。便数は少ないが乗り継いで熊野市駅まで行くことができる。前鬼口にバスが来ていない今、必ず役に立つことがあると思う。



香精水



深仙宿を離れる



ゴミを焼却

お堂に脚立と古いバッテリーを入れて香精水の確認に向かう。

水はポタポタではなく、筋状に流れていて500ccが1分以内に溜まる量だった。荷物をまとめて千丈平に向かう。千丈平でペットボトルなどを焼却した。火が消えるまで20分、十分な休憩だ。古田の森手前で伸びた笹を刈ってみる。ノコしかなないので時間がかかり、片側の半分を刈ったが、これ以上続けると日没になりそうなので中止した。不動木屋登山道分岐で残っていたパンを食べて休憩し、午後5時前に登山口に戻った。あまりに寒いので車の温度計を見ると11℃だった。2010年の5月に雪が降ったことがあったので、簡単に行けるからと侮ってはいけない。

(記：梶野)



笹の伸び方がすごい



ノコでは限界が



11℃だった

### 行動タイム

太尾登山口 08:55→10:22 古田の森→11:01 千丈平→11:58  
深仙宿 13:43→14:31 千丈平→15:44 古田の森→16:16 不動木屋登山道分岐→16:56 太尾登山口